

教育研究データ

|  |                |  |      |
|--|----------------|--|------|
| 1. 氏名  | 小田 典子          |  |      |
| 2. 生年月   | 1958年12月       |  |      |
| 3. 取得学位  | 医学博士           |  |      |
| 4. 教育業績  |                |  |      |
| 教育上の能力に関する事項   | 年月             | 概要   |      |
| (1) 教育内容・方法の工夫   | 2021年4月        | ①主要疾患について病理学的事項に続けて臨床的事項（症状・診断・治療等）を説明するために、病理学各論と臨床栄養学（病態編）を関連づけた病理病態学では、独自のレジメ、自主学修プリントを作成して配布もしくはデータ配信している。また單元ごとのミニテストを実施し、重要項目の把握、学修習慣の確立に役立てている。   |      |
|  | 2021年4月        | ②医学の中でも認知度の低い病理学の講義開始時には、日本病理学会 HP 中の一般向けの動画やマンガを紹介し、病理診断について理解を深められるようにしている。また、疾患による臓器や組織の病理学的変化の画像をパワーポイントで提示し、特に重要な疾患については、同 HP 中のコア画像を閲覧させて解説を加えている。 |      |
|  | 2021年12月       | ③臨床栄養臨地実習前に、臨床検査の基準値や各種疾患の診断基準等を記入する A3 サイズのプリントを配布している。このプリントは切り込みを入れることによって、臨地実習中に携帯可能な小冊子に仕立てることができるように工夫している。  |      |
| (2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等                                  | 2019年5月        | 前年度の病態栄養生理学が学生による授業評価における高評価授業として選出され、授業公開を行った。  |      |
| 5. 研究業績  |                |  |      |
| (1) 著書   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行の年月  | 発行所  |
| ①臨床栄養学 疾病編[第3版]<br>嶋津孝・下田妙子編<br>17.2 クリティカルケア(p.269-273) | 共著             | 2014年  | 化学同人 |
| ②合格ラインに到達する管理栄養士国家試験対策                                   | 共著             | 2013年  | 化学同人 |

|   |                |          |   |
|---|----------------|----------|---|
| 管理栄養士国家試験研究会編<br>第2章人体の構造と機能及び疾病の成<br>り立ち(5~8)(p.70~88)   |                |          |   |
| (2) 学術論文  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行の年月    | 掲載紙および巻/号, 頁                                      |
| ①Cytophotometric analysis on<br>nuclear DNA contents of human<br>scirrhus gastric carcinoma   | 共著             | 1989年    | Pathology Research and Practice<br>184, 390-401   |
| ②DNA ploidy pattern and<br>amplification of <i>ERBB</i> and <i>ERBB2</i><br>genes in human gastric carcinomas                           | 共著             | 1990年    | Virchows Archiv B [Cell Pathology]<br>58, 273-277 |
| ③Ossifying fibromyxoid tumor of soft<br>parts: A case report  | 共著             | 1993年    | Jpn J. Clin. Oncol. 23, 64-68                     |
| ④渡航前予防接種 254 例の解析<br>—海外渡航感染症対策の検討—   | 共著             | 2015年    | 『広島医学』68(1), 10-16                                |
| ⑤海外から帰国し, 感染症の疑いのあ<br>った受診者の現状と問題点  | 共著             | 2018年    | 『広島医学』70(2), 82-86                                |
| (3) 研究・作品発表   |                | 発表の年月    | 発表学会等   |
| ①Advance vaccination planning and<br>travel assessment —<br>Online traveler history is a better<br>workflow for travel clinics in Japan |                | 2017年11月 | グローバルヘルス合同大会 2017<br>(第21回日本渡航医学会学術集会)            |
| ②渡航者希望のワクチンは医師の助言<br>でどのように変化したか?   |                | 2019年7月  | 第23回日本渡航医学会学術集会                                   |
| (4) 所属学会  |                |          |   |
| ①日本病理学会   |                |          |   |
| ②日本癌学会  |                |          |   |
| ③日本病態栄養学会   |                |          |   |
| ④日本渡航医学会  |                |          |   |
| ⑤日本抗加齢医学会   |                |          |   |